

第6次塩竈市長期総合計画
【計画期間：令和4年度～令和13年度】



まちづくりの基本理念

今ある個性を大切にし、みんなでつなぎ合わせて、新しい魅力を創り上げていく、未来に続くまちづくり

まちづくりの視点

- シビックプライド（地域への愛着と誇り）を醸成します。
- 個性豊かで調和のとれた持続可能なまちを創造します。

まちづくりの手法

- 多様な担い手による協働・共創のまちづくりの推進
- 社会情勢の変化にも柔軟に対応できるまちづくりの推進

これまで塩竈は、海をはじめとした自然や豊かな歴史・文化に培われた人々の暮らしによって育まれてきました。令和4年度から新たな計画に基づき、個性豊かで調和のとれた持続可能なまちづくりに向けて、多彩な魅力を生かした楽しさあふれるみなとまちを、市民の皆さんをはじめとした多くの方々と共に創り上げます。

第6次塩竈市長期総合計画がスタートします

『海と社に育まれる楽しい塩竈』の実現を目指して

目標

方向性

まちづくりの目標と方向性

| | | |
|----------|-----------------------------|--------------------------------|
| 分野1 子ども | 子どもたちの笑い声があふれるまち | ▶▶▶ 健やかに育つ・育てる環境づくり |
| 分野2 福祉 | みんなが生き生きしているまち | ▶▶▶ 健康で安心して暮らせる地域づくり |
| 分野3 生活 | 快適に住み続けられるまち | ▶▶▶ 安全で安心なコンパクトさを生かした住環境づくり |
| 分野4 産業 | 活気があり、誇りをもって働いている人がたくさんいるまち | ▶▶▶ 活力に満ちた産業づくり |
| 分野5 交流 | 何度でも訪れたいまち | ▶▶▶ 観光交流による賑わいづくり |
| 分野6 文化 | 日常に彩りがあるまち | ▶▶▶ 生涯にわたって学びあえる風土づくり |
| 分野7 協働 | みんなが主役になれるまち | ▶▶▶ さまざまな個性がつながり、役割を發揮できる環境づくり |
| 分野8 浦戸諸島 | 自然と調和した和やかな暮らしと癒しがあるしま | ▶▶▶ 人々が住まい・集える持続可能な島づくり |

第6次塩竈市長期総合計画の特徴

本格的な人口減少・少子高齢化社会への突入、大規模災害や新型コロナウイルス感染症などの危機への不安の高まり、経済・社会のグローバル化や技術革新の急速な進展など、社会情勢は大きな変革期を迎えています。

これらの時代の潮流など、塩竈市が直面するさまざまな課題に的確に対応していくには、行政だけでなく市民のみなさんや塩竈と関わりのある方々と共に考え、行動していくことが求められています。

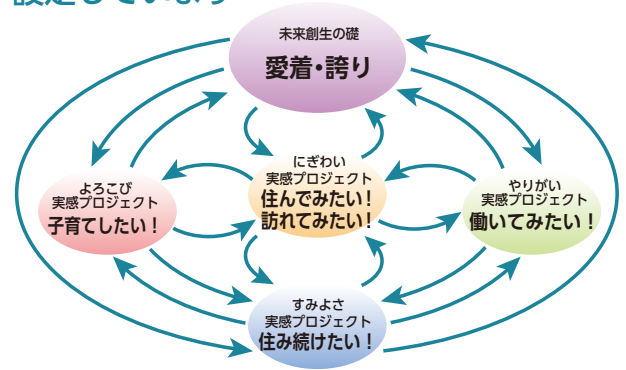
持続可能なまちを創り上げていくことを目指し、計画の有効性を高めるため、主に次のような特徴があります。

市民の皆さんで『塩竈らしい100の暮らし』を描きました



市民まちづくりワークショップを開催し、市民の皆さんで『楽しみながらこれからも塩竈で暮らしていきたい』という想いにあふれた「100の暮らし」をまとめイラスト化。その想いを計画に反映しており、未来につなげていきます。

「しおがま未来創生プロジェクト」を設定しています



計画の各施策を進める原動力として、4つの実感プロジェクトで構成される「しおがま未来創生プロジェクト」を設定。『すみよさ』、『よろこび』、『やりがい』、『にぎわい』を市民の皆さんに実感していただき、未来創生の礎となる塩竈への『愛着と誇り』を醸成します。

協働・共創によりまちづくりを進めます

まちづくりの主役・担い手である市民の皆さんや団体、事業者のほか、本市に関わりのある方々と行政が一体となり、目標に向かい力を合わせ計画を進めます。

本市が持つ個性や魅力など、一つ一つの小さな結晶をみんなでつなぎ合わせ、美しい光を放ちつづける「持続可能なまち」を目指します。

指標を設定し、評価・検証します

計画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、改善(Action)のPDCAサイクルにより、計画を着実に進めます。

しおがま未来創生プロジェクトには重要目標達成指標や数値目標を、各分野の主要な施策には成果指標を設定し、計画の実行や達成状況の評価・検証を行い、施策の改善や後期基本計画の策定につなげます。

SDGsにも一体的に取り組めます

「持続可能な開発目標(SDGs)※」の達成に向けた取り組みにより、人口減少、地域経済の縮小などの地域課題の解決や、地方創生の推進が期待されています。

本市でも、各分野や未来創生プロジェクトにSDGsの17の目標(ゴール)を関連づけて、計画を進めます。

※持続可能な開発目標(SDGs)

国連サミットで採択された2016年～2030年までの国際目標で、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための17の目標(ゴール)が設定されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

